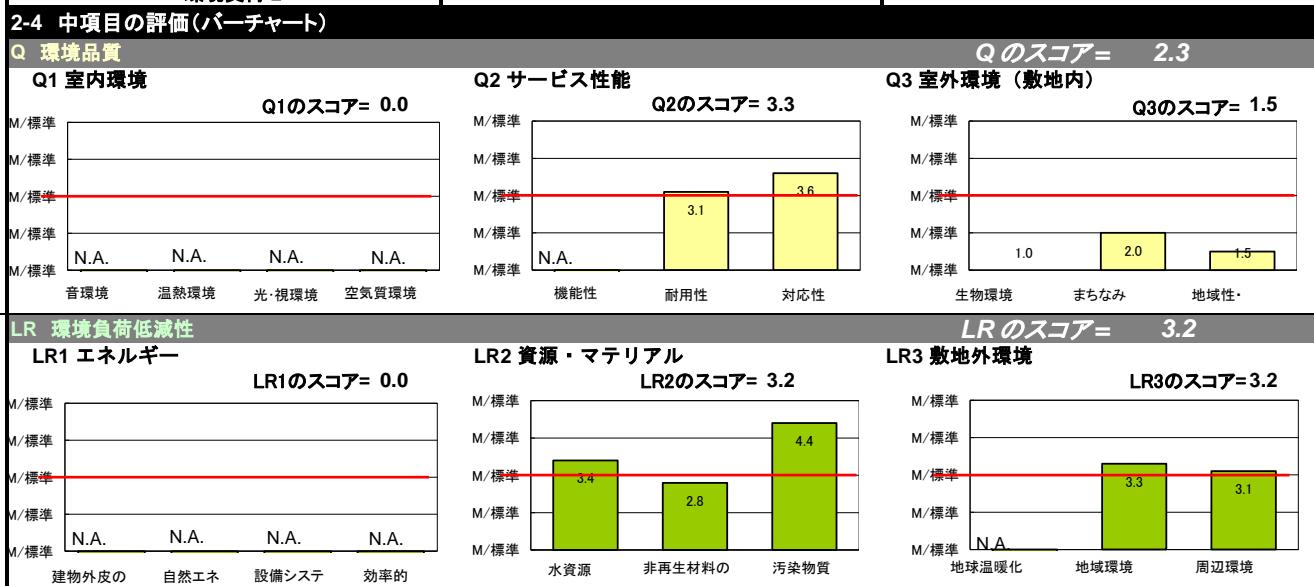
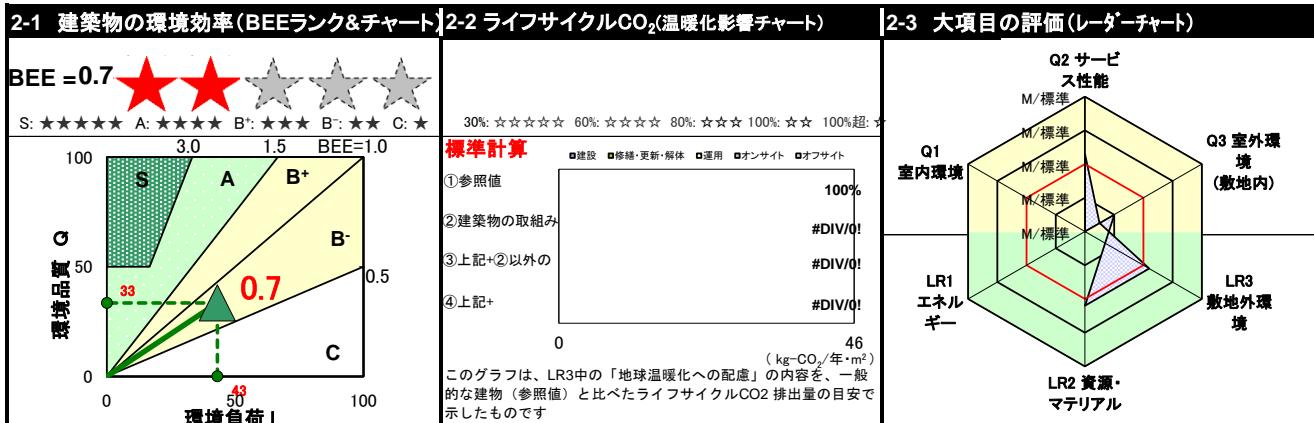


CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)(株)インスマタル 千葉土気	階数	地上1F
建設地	千葉県千葉市緑区大野台1丁目5-3	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	33 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,040 時間/年(想定)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2022年9月5日
敷地面積	13,408 m ²	作成者	上本 善紀
建築面積	4,077 m ²	確認日	2022年9月5日
延床面積	3,798 m ²	確認者	上本 善紀



3 設計上の配慮事項			
総合		その他	
千葉市に建つ平屋の工場である。 敷地内は緑化や十分な空地を設けることで、暑熱環境やヒートアイランド化抑制に配慮した計画とした。 建物は、耐用年数の長い材料を用いるなど維持管理・更新性に配慮して計画した。		特になし。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)	
—	耐用年数の長い材料を用いるとともに階高等にもゆとりをもたせ、材料の維持・更新性に配慮した。	敷地内には十分な空地を確保することで風を導き、暑熱環境の緩和に配慮した。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	
—	節水型機器、省水型機器を採用し水資源保護に努めた。また、解体時に躯体と仕上げ材が分別可能となるよう配慮した。	敷地内にはできる限り緑化を施し、建物は卓越風に対する見付面積を小さくするなど、風通しに配慮しヒートアイランド化の抑制対策を行った。	

- CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
- 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
- 評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される